

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
2018 年度 事業報告
(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)

I 事業概要

2018 年度事業計画に基づき、安全で安心できる社会の実現に資する各事業を推進するとともに、設立 10 年の機会を活かす事業の企画・実施準備を行った。

1. 心身のケアに関わる事業

(1) グリーフケアに関わる人材養成講座への助成（上智大学グリーフケア研究所人材養成講座）

誰もが安心して悲嘆等に伴うところのケアを受けられる社会を目指し、グリーフケアに関する専門知識・技能を持って実践に携わる人材や地域社会においてグリーフケアを提供する市民ボランティアを養成している上智大学グリーフケア研究所の「グリーフケア人材養成講座」に対し、寄付助成を行っている。

「グリーフケア人材養成課程（2 年制）」を開講、2018 年度は 39 名が入学し、うち 35 名が 2 年次に進級、2017 年度に入学した 2 年次生の 30 名が課程を修了した。また、日本スピリチュアルケア学会が認定する「スピリチュアルケア師（専門）」の資格取得を目指すための課程として「専門課程（1 年制）」を新たに開講、6 名が入学し、5 名が修了した。

(2) 心身のケアに関する啓発活動

・2018 年度「いのちのセミナー」～ひとのいのち 私のいのち を考える～ の開催

多様な観点から「いのち」をテーマにとりあげ、人の「いのち」や自分の「いのち」について深く考える機会を多くの方に提供することを目的に、「いのちのセミナー」を 8 回開催した。

・第 1 回開催概要（会場：松下 IMP ホール、時間：13:30～15:00）

日付	講師	参加者
5/20(日)	大林 宣彦 映画作家	約 780 名

・第 2 回開催概要（会場：毎日新聞オーバルホール、時間：18:30～20:00）

日付	講師	参加者
8/9(木)	関谷 直人 同志社大学神学部教授、牧師	約 350 名

※当初は 7 月 6 日（金）の開催予定であったが、「平成 30 年 7 月豪雨」により延期となった。

・第 3 回開催概要（会場：立命館大学大阪いばらきキャンパス、時間：13:30～15:00）

日付	講師	参加者
8/22(水)	山崎 直子 宇宙飛行士、立命館大学客員教授	約 660 名

・第 4～7 回開催概要（会場：毎日新聞オーバルホール、時間：18:30～20:00）

日付	講師	参加者
9/21(金)	垣添 忠生 公益財団法人日本対がん協会会長、国立がんセンター名誉総長	約 490 名

10/11(木)	佃 祐世	弁護士、自死遺族	約 410 名
11/2(金)	小笠原 望	大野内科院長	約 470 名
11/29(木)	南 直哉	福井県霊泉寺住職、青森県恐山菩提寺院代	約 480 名

・第8回開催概要（会場：松下IMPホール、時間：13:30～14:40）

日付	講師		参加者
3/17(日)	浜村 淳	パーソナリティ、映画評論家	約 730 名

2. 地域社会の安全構築に関わる事業

(1) 「安全セミナー」の開催

昨夏以降、平成 30 年 7 月豪雨や台風 21 号をはじめ幾度もの風水害の脅威にさらされたことから、2018 年度は「風水害」をテーマにした荒ぶる自然災害との向き合い方について、市民・地域社会への啓発活動として以下のセミナーを開催した。

<開催概要>

日 時：2019 年 2 月 2 日（土） 13 時 30 分～15 時 30 分
会 場：毎日新聞オーバルホール
講 演：片田 敏孝 東京大学大学院情報学環特任教授、群馬大学名誉教授 「荒ぶる自然災害から犠牲者ゼロを目指す～危機に主体的に備えるために～」
参加者：約 470 名

(2) 「救急フェスタ in 京都 第 6 回いのちのリレー大会」の開催

幅広く救命処置の重要性について知っていただくことを目的に、救命処置の的確さを競う「いのちのリレー大会」を実施し、20 組が参加した。そのほか、心肺蘇生・AED 体験コーナーをはじめ、駅ホーム非常ボタンの体験など、JR 西日本や消防、関係団体等と連携・協力し、「救急フェスタ」を開催した。

日 時：2018 年 11 月 3 日（土・祝） 13 時 00 分～16 時 00 分
会 場：京都駅ビル駅前広場（京都劇場前）
参加者：いのちのリレー大会 20 組（60 名） 小学生 8 組、中学生 3 組、高校生 5 組、大学生・一般 4 組が参加した。倒れている人を発見してから救命処置を行い救急隊に引き継ぐまでの一連の流れを 3 人 1 組のチームで協力して行い、その的確さを競った。4 ブロックに分けた予選から各ブロック上位 2 チームが決勝に進出し、高校生のチームが優勝した。
体験者：AED 体験 108 名
駅ホーム非常ボタン体験 140 名

(3) AED訓練器等の助成による救命処置の普及啓発

救命処置の普及を進めるべく、救命処置の普及啓発活動を積極的に行う団体を公募し、AED訓練器・訓練人形を助成した。

	学校	NPO法人	その他	計
応募件数(セット)	5(12)	5(22)	14(36)	24(70)
助成件数(セット)	1(1)	2(6)	8(13)	11(20)

なお、「第1回AED訓練器等助成活動成果報告会(7月8日予定)」を計画していたものの「平成30年7月豪雨」により中止した。

3. 「安全で安心できる社会」の実現に関わる事業

(1) あしなが育英会への助成

事故や災害、病気等様々な理由で親をなくした子どもたちへの心のケア活動の一環として取り組んでいるあしなが育英会主催の「高校奨学生をつどい」及び小・中学生を対象とした「キャンプをつどい」に対し、寄付助成を行っている。2018年度は、関西地区における「高校奨学生をつどい」が、8月13日から16日まで、総勢179名の高校奨学生及びリーダー役・運営スタッフの先輩奨学生たちが参加し開催された。また、小・中学生を対象とした「キャンプをつどい」が、8月10日から12日まで、総勢96名の子どもたち及び学生ボランティアが参加し開催された。

(2) いのちの電話(近畿ブロック7団体)への助成

現代社会を生きる中で深刻な悩みを抱え、助けを必要としている人からの電話相談を行っている「いのちの電話」の相談員のスキルアップやメンタルケア等に関する取り組みに対し、寄付助成を行っている。2017年度から近畿2府4県の7団体に対して助成を行っているが、それにより近隣団体による合同研修会が開催されるなど、団体間の連携にもつながっている。

(3) 地域における各種活動等に対する支援協力

当財団では上記のほか、財団の設立趣旨に合致し公益性や社会的必要性が高いと認められる活動に対し協賛を行っている。

- ① 京阪神に拠点のある遺族会が、個々の遺族会のレベルアップを目指して実施する勉強会を盛り込んだ交流会の開催に対し、協賛を行った。
- ② 一般財団法人日本AED財団による、学校教育を基盤に全ての国民が心肺蘇生教育を受けることのできる環境整備を目的とした小学校安全教育副読本の作製に対し、協賛を行った。(250校に5万冊配付)

4. 公募助成事業

(1) 「2019年度公募助成(活動及び研究)」の実施(募集、審査、決定)

当財団では、設立初年度より、事故・災害に対する備えやその後のケアに関連する活動・研究を対象とした公募助成を実施している。

2018年度は、2019年度に行われる活動や研究を対象とした助成事業について、平成30年7月豪雨

の被災地・被災者支援に取り組む団体を特別枠の対象に加え、公募を実施した。応募のあった147件について審査した結果、58件、5,161万円の助成を行った。採択率については40%となった。

2019年3月には、採択された団体や研究者を対象に贈呈式を開催するとともに、助成先相互のネットワークづくりを目的に交流会を実施した。

	応募件数	助成件数	金額
活動助成	55件	28件	1,740万円
活動助成(特別枠)	28件	14件	934万円
研究助成	64件	16件	2,487万円
計	147件	58件	5,161万円

(2) 第8回公募助成成果発表会

助成活動の成果の社会的還元や助成先同士の交流などを目的に、2017年度に実施された助成活動及び研究の成果発表を行う「成果発表会」を開催した。

<開催概要>

日時：2018年7月30日(月)

[発表会] 13時30分～16時30分(ステージ発表)

[交流会] 16時45分～18時00分(ポスター発表含む)

場所：ホテルグランヴィア大阪

発表者：42団体(ステージ発表8団体、ポスター発表34団体)、研究者2名

参加者：約120名(発表者、傍聴者、役員等)

(3) 2019年度公募助成贈呈式

2019年度助成として採択された団体及び研究者に、目録の贈呈を行うとともに、決意表明と助成先同士の交流等を目的とした「贈呈式」を開催した。

<開催概要>

日時：2019年3月25日(月)

[贈呈式] 15時00分～17時00分

[交流会] 17時30分～18時30分

場所：ホテルグランヴィア大阪

出席者：42団体、研究者14名

参加者：約105名(助成先、役員等)

II 財団運営に関わる事項

1. 機関運営（評議員会、理事会、事業審査評価委員会等の開催）

(1) 評議員会

開催回数：1回

決議事項等：平成29年度計算書類等の承認、評議員の選任、監事の選任

(2) 理事会

開催回数：4回

決議事項等：業務執行状況報告のほか、以下の事項について決議を行った。

平成29年度事業報告及び計算書類等の承認、重要な使用人の選任、評議員会の招集、セミナー応募者の利便性向上策の実施の承認、2019年度公募助成基本方針変更の承認、2018年度収支予算の変更の承認、設立10周年事業の実施事項の承認、2019年度公募助成（活動及び研究）の採択決定の承認、2019年度「上智学院、あしなが育英会、いのちの電話」への助成の承認、2019年度AED訓練器等助成事業における採択決定の承認、2019年度基本財産の運用基本方針の承認、2019年度事業計画及び収支予算の承認、2020年度公募助成（活動及び研究）の基本方針の承認、2020年度AED訓練器等助成事業の基本方針の承認

(3) 事業審査評価委員会

開催回数：4回

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

平成29年度助成事業の実績・成果等の確認評価、平成29年度事業報告（案）について、2019年度公募助成の内容及び方法に関する指導・助言、2019年度公募助成（活動及び研究）の選考、2019年度助成先の審査について、2019年度事業計画（案）について

(4) AED訓練器等助成事業審査委員会

開催回数：2回

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

平成29年度AED訓練器等助成事業の実績・成果等の確認評価、2019年度AED訓練器等助成事業の内容及び方法に関する指導・助言、AED訓練器等助成活動成果報告会の開催、2019年度AED訓練器等助成事業の審査、2020年度AED訓練器等助成事業の基本方針

2. その他

(1) 基本財産の運用

基本財産20億円は、西日本旅客鉄道株式会社の無担保社債（20年物）により10億円、国債（20年物）により10億円を継続して運用した。

(2) 設立10年事業の実施に向けた企画・実施準備

- ・設立10年の機会を活かす事業の実施内容の決定
- ・小・中学生「いのち」の作文・俳句コンクールの開催内容の検討
- ・10年史発刊に向けた調整、原稿の作成

(3) 広報活動及び情報公開

当財団のホームページにおいて、財務資料等の基本情報の開示や財団事業の実施概要、実施結果等の公表を行った。また、事業実施時におけるプレス発表のほか、JR主要駅へのポスター・パンフレットの掲出、財団紹介用パンフレットの製作・配布、広報誌「Relief」の発行（2018年4月、7月、10月、2019年1月）に加え、2019年度公募助成の募集にあわせた広報（大学及び中間支援団体等訪問）を行うなど、財団事業の認知度向上のための広報活動を実施した。

(4) 報道実績

- ・大阪日日新聞（8/6・日刊・20面）「第4回・第5回いのちのセミナー」参加者募集
- ・大阪日日新聞（8/10・日刊・20面）「AED訓練器等助成」募集
- ・朝日新聞（8/22・日刊・1面）コラム「折々のことば」にて、広報誌「Relief」vol.32に掲載の「第1回いのちのセミナー」（講師：大林宣彦）の講演録の一部が掲載
- ・両丹日日新聞（8/30・日刊・1面）「8/2～4『自然の中でリフレッシュ 三和町でサマーキャンプ』」
[公募助成先 みわのわ]
- ・中国新聞（10/4・日刊）「公募助成事業」募集
- ・大阪日日新聞（10/6・日刊）「公募助成事業」募集
- ・大阪日日新聞（10/22・日刊）「第6回・第7回いのちのセミナー」参加者募集
- ・関西テレビ（11/3・プライムニュース）「救急フェスタ in 京都 第6回いのちのリレー大会」
- ・京都テレビ（11/3・夕方ニュース）「救急フェスタ in 京都 第6回いのちのリレー大会」
- ・Jコム（11/7・デイリーニュース京都）「救急フェスタ in 京都 第6回いのちのリレー大会」
- ・朝日ファミリー（11/5・Asahi Family Digital）「第6回いのちのセミナー」
- ・大阪日日新聞（12/12・日刊）「安全セミナー」参加者募集
- ・神戸新聞（1/17・日刊）「117KOBEBぼうさい委員会活動5年目」
[公募助成先 117KOBEBぼうさい委員会]
- ・大阪日日新聞（1/28・日刊・20面）「第8回いのちのセミナー」参加者募集
- ・愛媛新聞（2/3・日刊）安全セミナー実施
- ・岩手日報新聞（2/3・日刊）安全セミナー実施